

### 一般会計の概要

昭和60年度の当初予算は前年度に対し17.8%増でスタートしました。その後の補正で最終的な一般会計の決算額は、入ったお金(歳入)27億2,451万6千円、出たお金(歳出)26億7,453万1千円で差し引き4,998万5千円の黒字となり翌年度に繰越されました。

また、この決算額は昨年と比べ歳入で17.8%歳出で17.4%のそれぞれ増となりました。

#### 入ったお金 (図1)

町に入ったお金(歳入)では全体で27億2,451万6千円で、その中で町税、諸収入、財産収入など、自分の町で確保できるお金(自主財源)は依然として低く39.3%しかありません。そして地方交付税や国庫支出金、町の借金などのお金(依存財源)が全体の60.7%を占めています。特徴としては、昨年に続く小須戸小学校の改築事業や中学校の改修工事のために国庫支出金や町の借金がふえたことがあげられますし、今年度では基金から6,507万2千円を繰入れました。1人あたりにおきかえてみると、25万7,151円入ったこととなりますし、1世帯あたりでは、108万2,015円入ったこととなります。

#### 町税 (図2)

皆さんから納めていただいた税金は全体で5億7,851万8千円。前年度と比較して、4,988万1千円、9.4%の増となりました。町民1人あたり5万4,603円を納めたこととなります。

#### 出たお金<目的別> (図3)

出たお金(歳出)を見てみると、目的別では昨年同様、小須戸小学校改築事業のあった教育費が全体では9億6,449万3,611円でトップでした。町の財政の3割以上が人づくりに重点をおいて使われたともいえます。次に、町の道路の舗装や改良、都市街路、除雪などの土木費が3億4,285万3千円、12.8%を占めています。

続いては、借金返済(公債費)が2億7,446万6千円、10.3%で昨年より7.7%も増加しました。これは将来のことも考えて繰上償還を行ったためです。続いて農林水産業費2億5,497万9千円、総務費2億5,149万4千円でした。

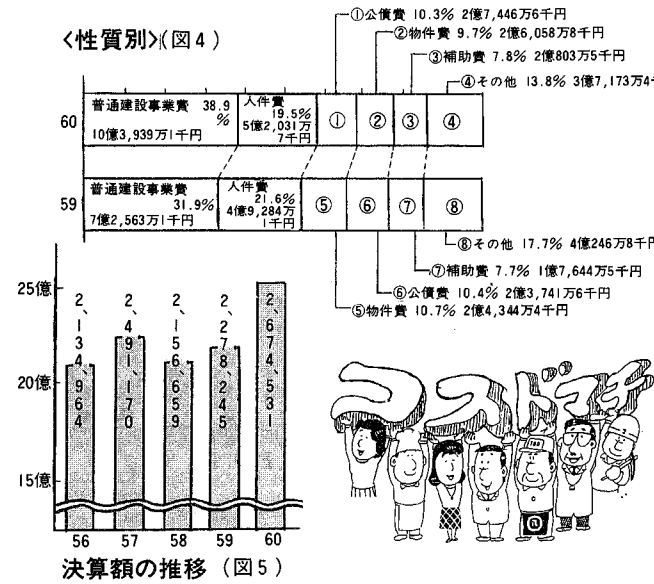
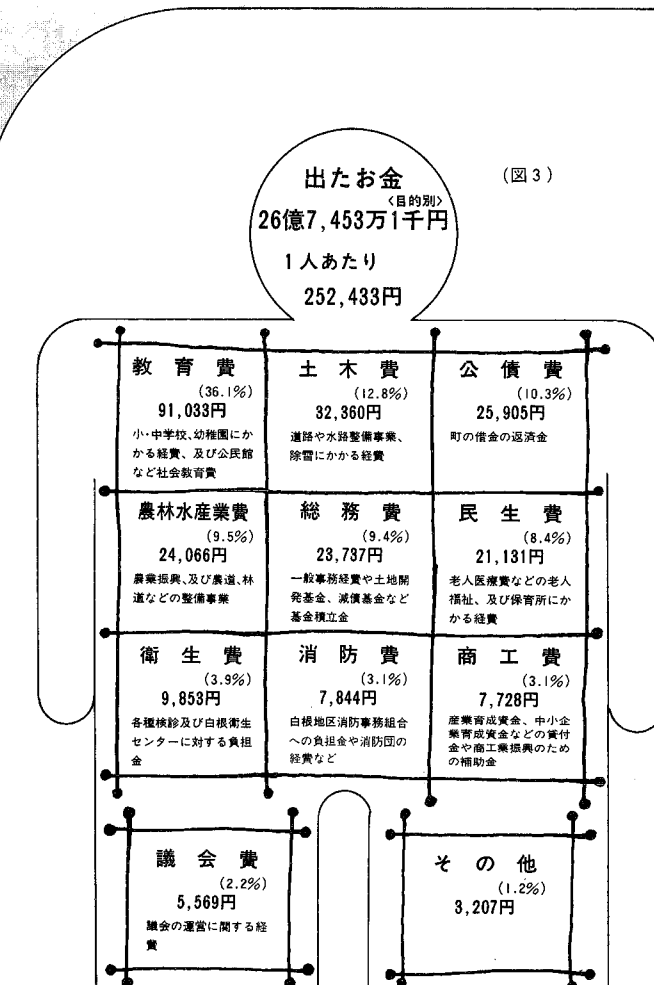
町民1人あたりに使われた費用は、25万2,433円になり、皆さんが納められた税金の約5倍になります。1世帯あたりでは106万2,164円使われたこととなります。

#### 出たお金<性質別> (図4)

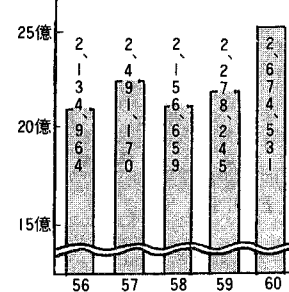
出たお金(歳出)の性質別を見てみると、普通建設事業費が前年度と比較して3億1,376万4,433円増えています。

これは小須戸小学校改築事業費、中学校の大規模改修事業費、団体宮かんがい排水事業費などが増額したことによるものです。続いて人件費、公債費、物件費、補助費となります。

昨年は公債費よりも物件費の割合が高かったのですが、60年度では公債費の方が物件費を上回りました。

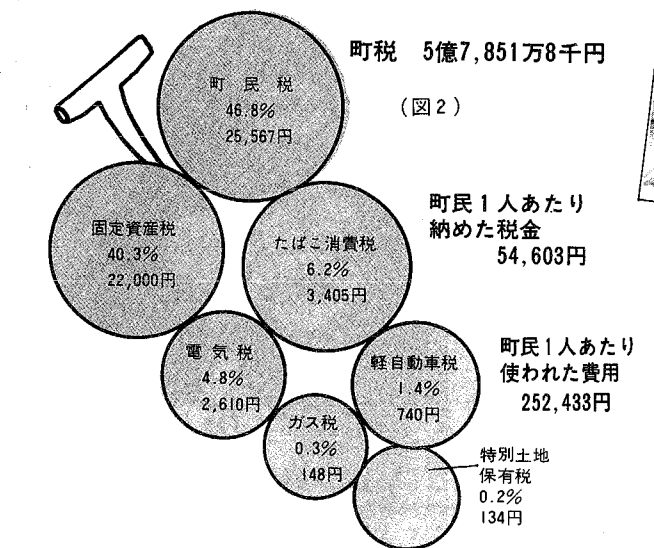
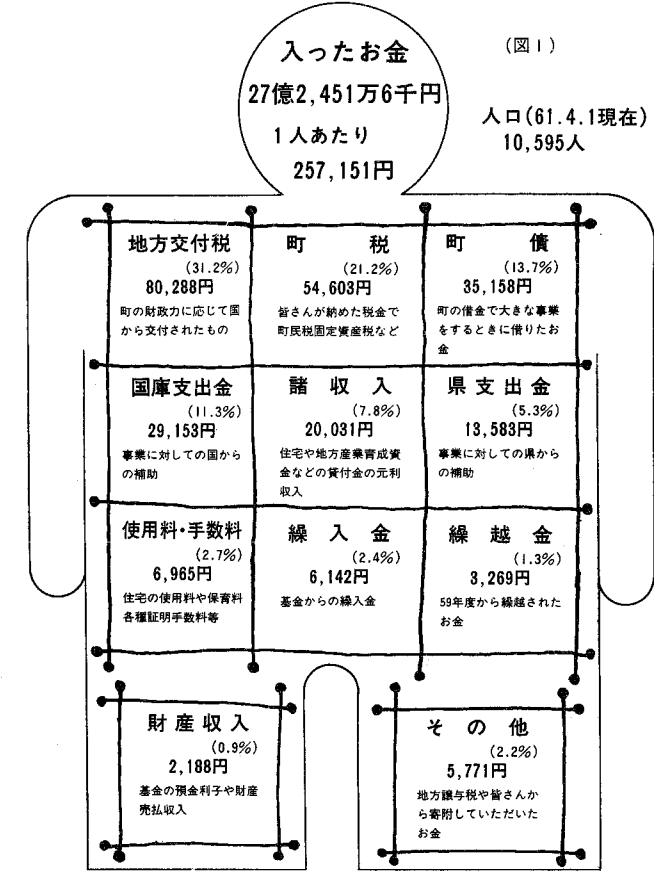


決算額の推移 (図5)



# 小須戸町の家計簿

昭和六十年度の小須戸町の決算が公表されましたので紹介いたします。町の財政というとなんとなく複雑でわかりにくいと思いがちですが、今年もわかりやすくするために入ったお金、出たお金を一人あたりにおきかえてみました。皆さんの納めた税金がいくらか、いくらか借金をしているのか、ご覧ください。



町づくりは、人づくりから……